



エネルギーを新しい時代へ

# 2021年度第2四半期連結決算について

(注) 資料内の「年度」表記は4月から翌年3月までの期間を指します。  
「2Q」表記は4月から9月までの期間を指します。

2021年11月12日  
株式会社JERA

## 連結損益計算書

(億円)

	2021/2Q(A)	2020/2Q(B)	増減(A-B)	増減率(%)
営業収益 (売上高)	15,908	12,525	3,383	27.0
営業利益	1,117	1,585	▲468	▲29.5
経常利益	843	1,629	▲786	▲48.2
親会社株主に帰属する 四半期純利益	438	1,089	▲650	▲59.7
(参考) 期ずれ除き四半期純利益	1,348	▲38	1,387	-

## 連結貸借対照表

(億円)

	2021/2Q(A)	2020年度末(B)	増減(A-B)	増減率(%)
資産	65,983	40,908	25,074	61.3
負債	47,520	23,287	24,232	104.1
純資産	18,463	17,621	841	4.8
有利子負債残高	17,789	16,132	1,656	10.3
自己資本比率(%)	26.6	41.2	▲14.6	

# 決算のポイント

## 【売上高】

- 販売電力量の増加に加え、JERA Global Markets（以下、JERAGM）の売上増などにより、**前年同期比3,383億円増（27.0%増）の1兆5,908億円**

## 【純利益】

- 純利益は、**前年同期比650億円減（59.7%減）の438億円**  
期ずれ除き利益は大幅に増加した（+1,387億円）ものの、期ずれが差益から差損に転じた（▲2,037億円【1,127億円→▲909億円】）ことにより、減益となった
- 期ずれ除き利益は、**前年同期比1,387億円増の1,348億円**  
海外発電事業において、減損（▲323億円）があったものの、前年同期のコロナ影響反動（+298億円）、JERAGM利益増（+488億円）、燃料在庫単価影響（+203億円）等により大幅増益となった

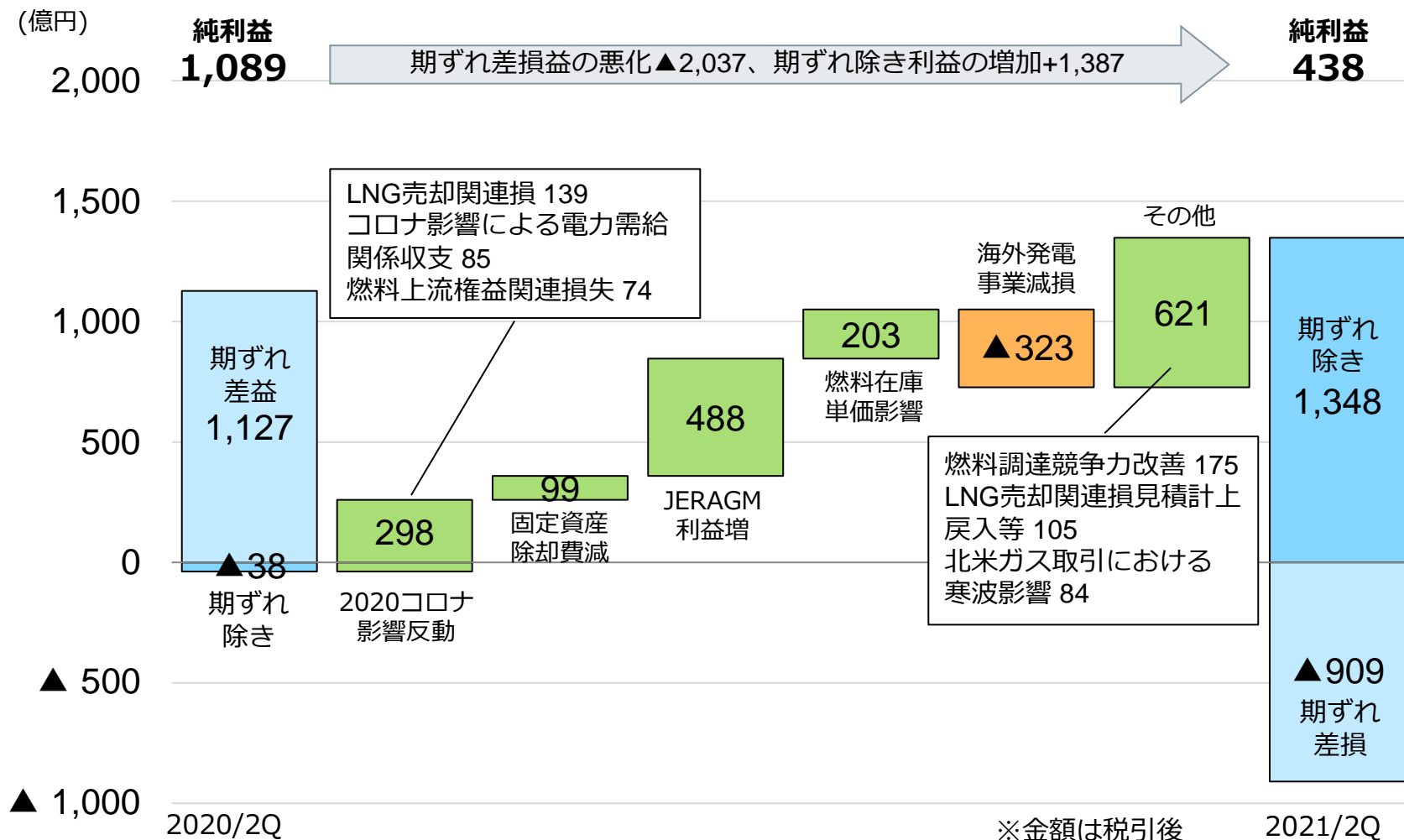
## ※自己資本比率について

- 燃料トレーディングを営む子会社（JERAGM）において、仕入・売上双方に現物取引・ファイナンシャル取引\*といった取引契約を活用しており、その未決済残高時価を「デリバティブ債権・債務」として計上している。  
資源価格高騰を受け、当四半期末のデリバティブ債務の増加に応じてデリバティブ債権も増加したことにより自己資本比率が低下したものの、実質的なリスク対応力は低下していないと評価している。仮にJERAGMのデリバティブ債権・債務を相殺した場合、自己資本比率は40%程度となる

\*シンガポール会計基準上デリバティブとされる

# 連結純利益の変動要因

- 海外発電事業減損発生も、前年同期のコロナ影響反動、JERAGM利益増等により期ずれ除きで大幅増益



# 連結収支比較表

(億円)

	2021/2Q(A)	2020/2Q(B)	増減(A-B)	主な増減要因
営業収益 (売上高)	15,908	12,525	3,383	<ul style="list-style-type: none"> <li>販売電力量の増加</li> <li>JERAGM売上増</li> </ul>
営業費用	14,791	10,939	3,851	<ul style="list-style-type: none"> <li>燃料費の増加</li> <li>JERAGM費用増</li> </ul>
営業利益	1,117	1,585	▲468	
営業外収益	53	100	▲46	
営業外費用	327	56	271	<ul style="list-style-type: none"> <li>持分法投資損失 265</li> </ul>
経常利益	843	1,629	▲786	<ul style="list-style-type: none"> <li>期ずれ差損益 ▲2,830(1,566→▲1,263)</li> <li>期ずれ除き利益の増 +2,044(63→2,106)</li> </ul>
特別損失	-	57	▲57	
法人税等	118	406	▲288	
非支配株主利益	286	76	209	
親会社株主に帰属する 四半期純利益	438	1,089	▲650	

	2021/2Q(A)	2020/2Q(B)	増減(A-B)
販売電力量 (億kWh)	1,183	1,099	84
原油価格(JCC) (\$/b)	70.3	36.5	33.8
為替レート (円/\$)	109.8	106.9	2.9

※2021/2Qの原油価格は速報値

# 連結貸借対照表

(億円)

	2021/2Q(A)	2020年度末(B)	増減(A-B)	主な増減要因
現金及び預金	4,868	6,161	▲1,292	
有形固定資産	21,194	20,100	1,094	・国内火カリプレースの進捗
投資有価証券	5,493	5,594	▲100	
その他	34,426	9,053	25,373	・デリバティブ債権増 (JERAGM等) +22,162
資産合計	65,983	40,908	25,074	
有利子負債	17,789	16,132	1,656	・借入金 +1,656 (子会社 +1,611)
その他	29,731	7,154	22,576	・デリバティブ債務増 (JERAGM等) +21,881
負債合計	47,520	23,287	24,232	
株主資本	17,074	16,969	104	・株主への配当 ▲334 ・四半期純利益 +438
その他	1,388	651	736	・為替換算調整勘定 +406
純資産合計	18,463	17,621	841	
自己資本比率(%)	26.6	41.2	▲14.6	・主にデリバティブ債権・債務双方が増加したことによる低下

# 連結キャッシュ・フロー

(億円)

		2021/2Q(A)	2020/2Q(B)	増減(A-B)
営業キャッシュ・フロー		▲128	1,966	▲2,095
投資キャッシュ・フロー	固定資産の取得	▲1,909	▲1,160	▲748
	投資有価証券の取得	▲9	▲26	17
	その他	▲368	▲43	▲324
		▲2,286	▲1,231	▲1,055
フリー・キャッシュ・フロー		▲2,415	734	▲3,150
財務キャッシュ・フロー	有利子負債の増減額	1,593	349	1,243
	配当金の支払額※	▲334	▲270	▲64
	その他	▲120	166	▲287
		1,139	246	892
現金及び現金同等物の増減額 (▲は減少)		▲1,200	935	▲2,136

※ 非支配株主への配当金の支払額を除く



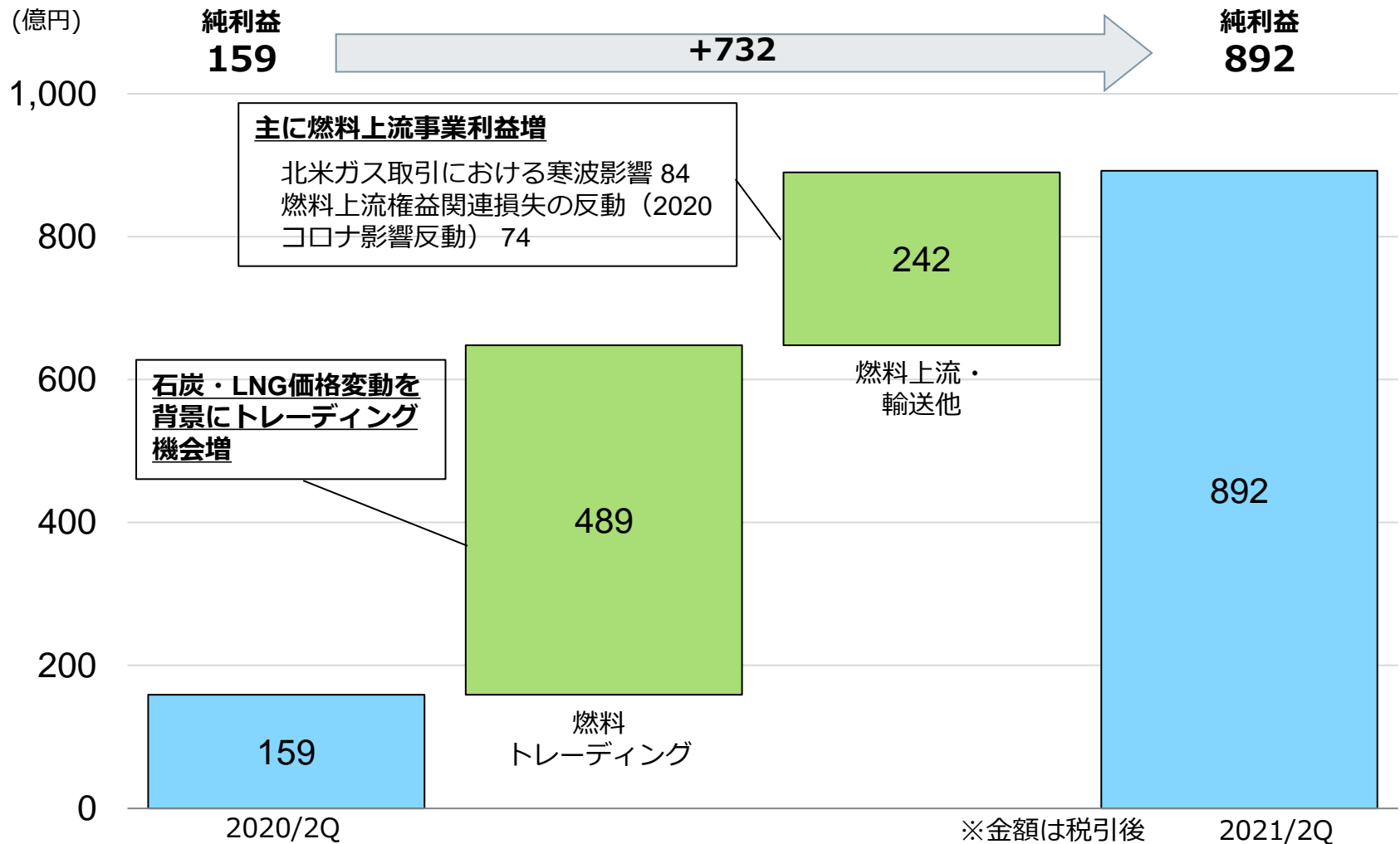
(億円)

	2021/2Q(A)		2020/2Q(B)		増減(A-B)		主な純利益(期ずれ除き) 増減要因
	売上高	純利益 (期ずれ除き)	売上高	純利益 (期ずれ除き)	売上高	純利益 (期ずれ除き)	
燃料事業※	9,564	892	3,655	159	5,908	732	<ul style="list-style-type: none"> <li>•JERAGM利益増 +488</li> <li>•北米ガス取引における寒波影響 +84</li> <li>•2020コロナ影響反動 +74</li> </ul>
海外発電事業	15	▲330	10	1	4	▲332	<ul style="list-style-type: none"> <li>•減損損失（フォルモサ2） ▲323</li> </ul>
国内火力・ガス事業	11,889	170 (1,080)	11,674	1,082 (▲44)	215	▲912 (1,125)	<ul style="list-style-type: none"> <li>•2020コロナ影響反動 +224</li> <li>•固定資産除却費減 +99</li> <li>•燃料在庫影響 +203</li> <li>•燃料調達競争力改善 +175</li> <li>•LNG売却関連損見積計上戻入等 +105</li> </ul>
調整額	▲5,560	▲293	▲2,815	▲155	▲2,745	▲138	
連結財務諸表計上額	15,908	438 (1,348)	12,525	1,089 (▲38)	3,383	▲650 (1,387)	

※燃料上流・輸送・燃料トレーディング

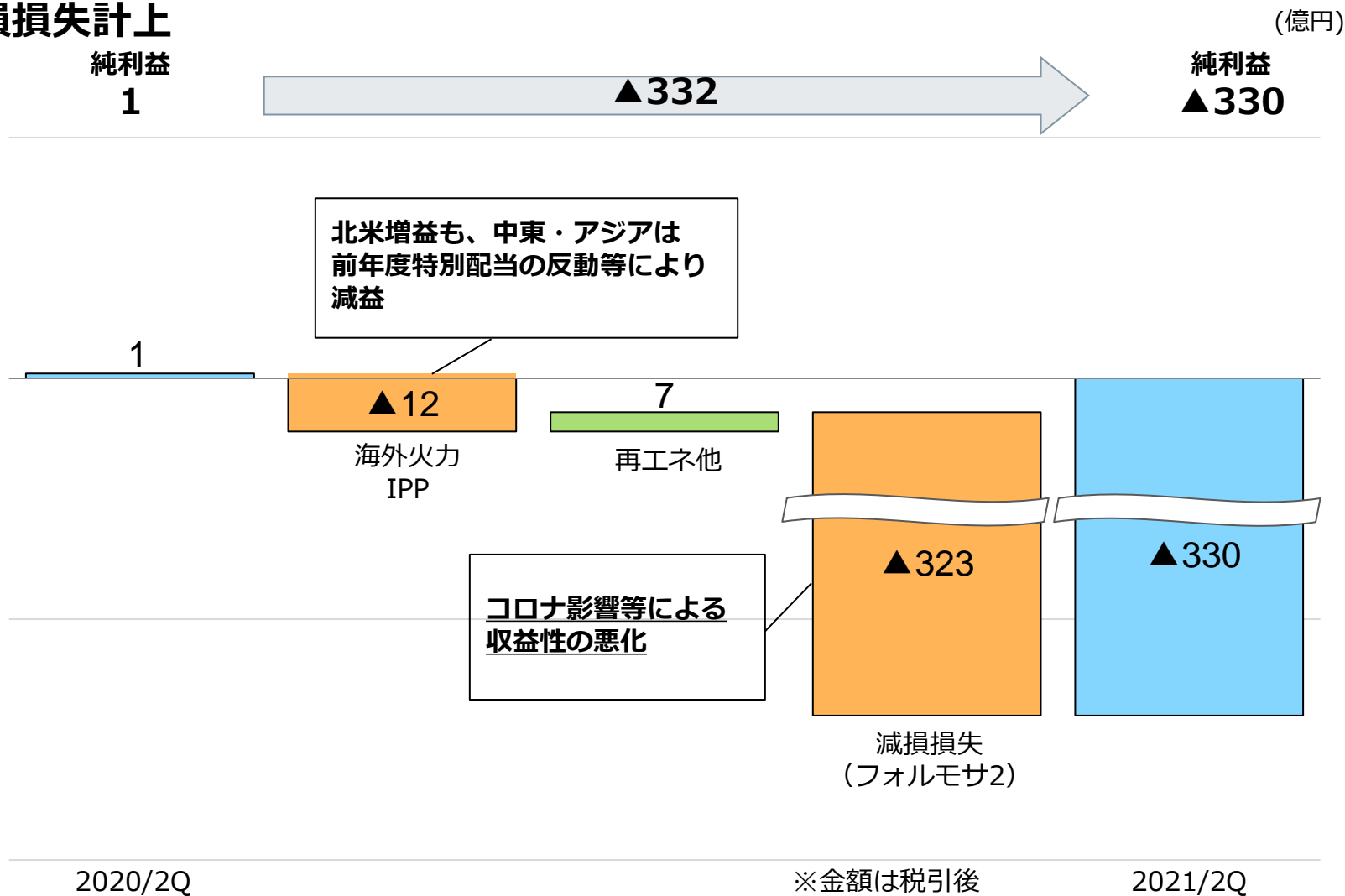
# 連結純利益の変動要因（燃料事業）

## ■ 燃料トレーディングおよび燃料上流が大幅増益



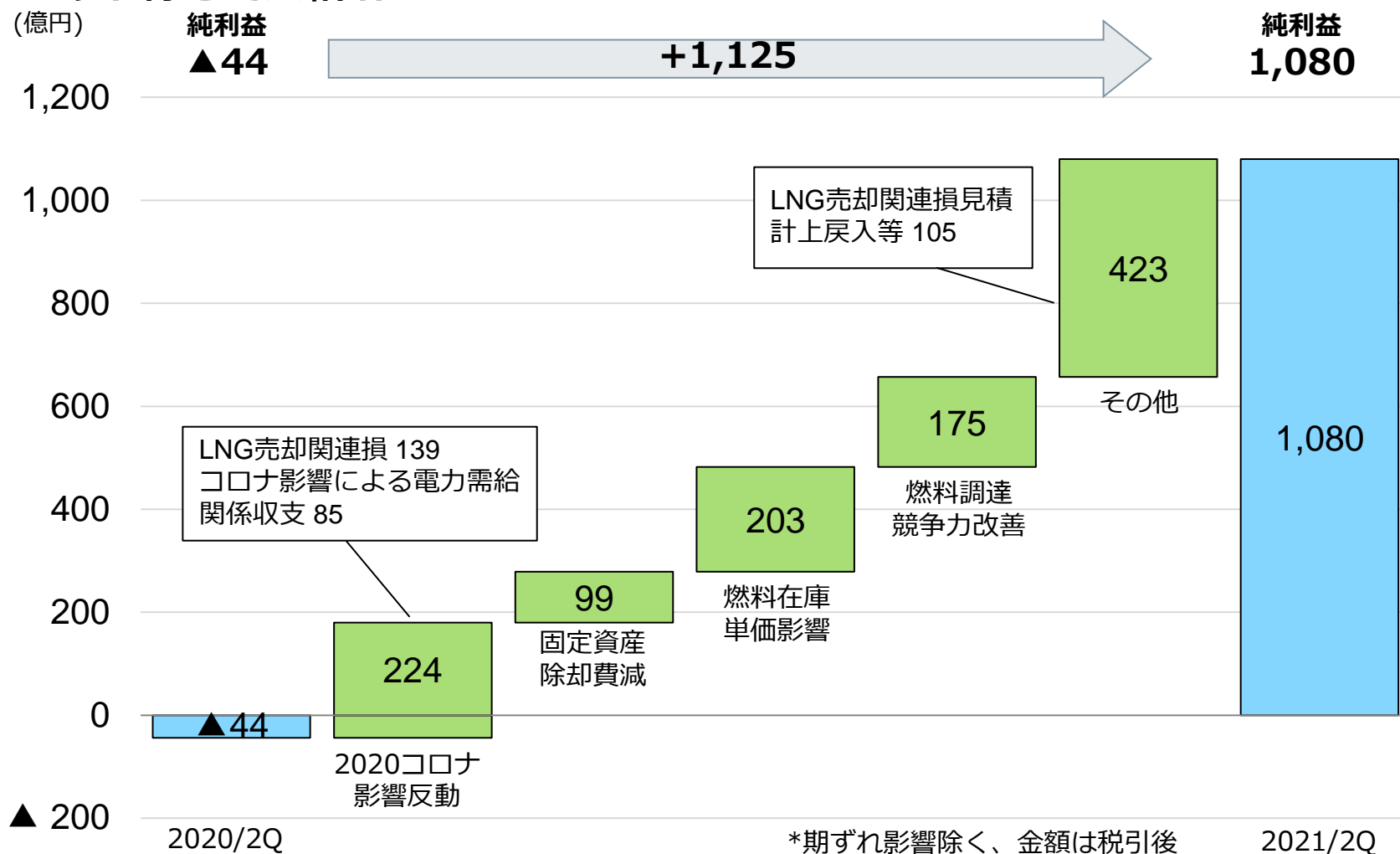
# 連結純利益の変動要因（海外発電事業）

- 新型コロナウイルスの影響等による収益性悪化により「フォルモサ2」で減損損失計上



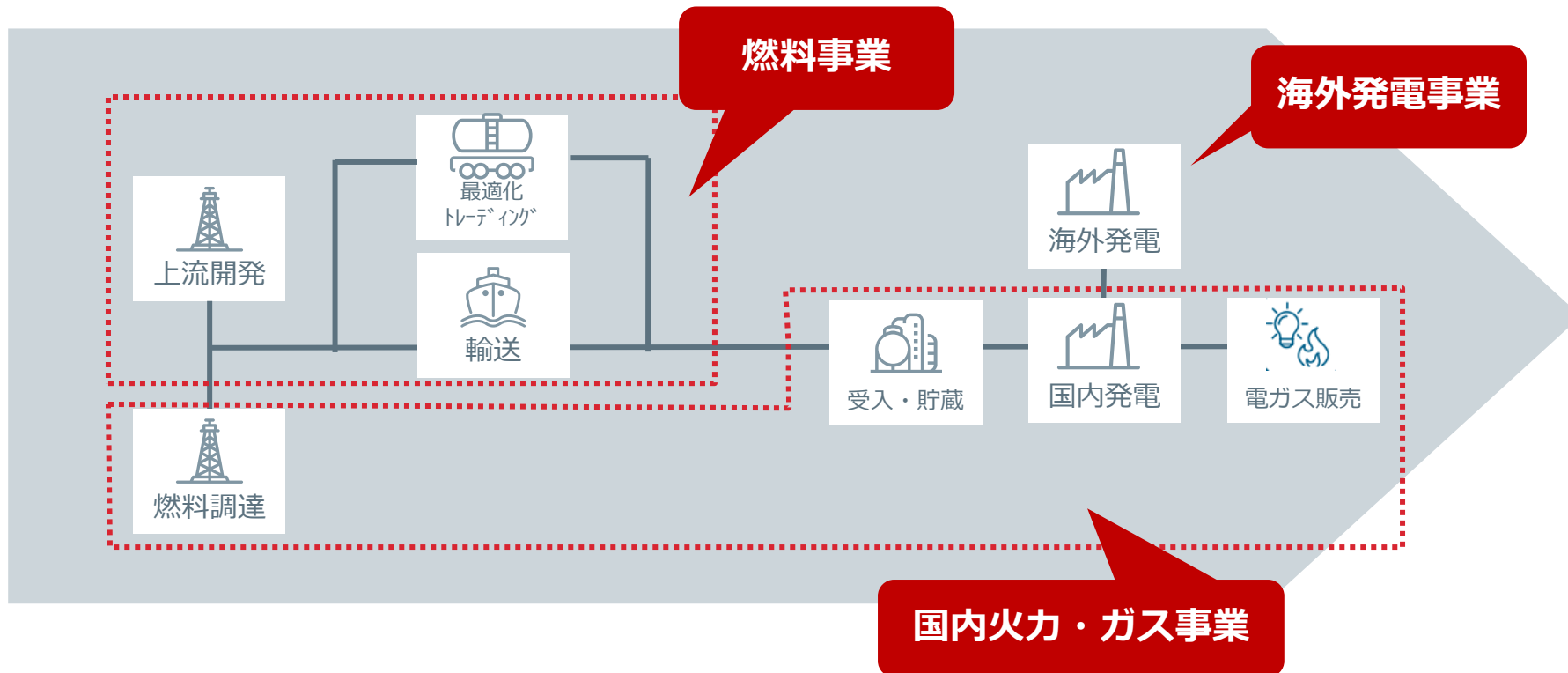
# 連結純利益\*の変動要因（国内火力・ガス事業）

- 前年同期のコロナ影響反動、燃料在庫影響、燃料調達競争力改善等により期ずれ除きで大幅増益



# (参考) バリューチェーンとセグメント区分

- 燃料上流（ガス田の開発）から、燃料輸送、燃料貯蔵（燃料基地の運営）、発電、卸売まで、燃料・火力のサプライチェーン全体を保有。
- セグメントとして、燃料上流事業等への投資、燃料輸送・燃料トレーディング事業を行う「燃料事業」、海外の発電事業等への投資を行う「海外発電事業」、国内における電力・ガスの販売などを行う「国内火力・ガス事業」に区分している。



# 2021年度業績見通し

## 【業績見通し】

- JERAGMの利益増加および期ずれ差損増加等を見込み、純利益予想を0億円（期ずれを除いた純利益は1,500億円）に修正

(億円)

	今回予想 (A)	前回 (2021/1Q) 予想(B)	増減(A-B)	増減率(%)
純利益	0	400	▲400程度	-
(内訳)期ずれ差損益	▲1,500	▲800	▲700程度	-
期ずれ除き利益	1,500	1,200	300程度	25.0

## 【参考：前年度実績との比較】

(億円)

	今回予想 (A)	2020年度実績 (B)	増減(A-B)	増減率(%)
純利益	0	1,578	▲1,580程度	-
(内訳)期ずれ差損益	▲1,500	462	▲1,960程度	-
期ずれ除き利益	1,500	1,116	380程度	34.1

## 【主要諸元】

	今回予想	(うち下期) (10~3月)	前回(2021/1Q) 予想	【参考】2020年度 実績
原油価格(JCC) (\$/b)	73程度	(75程度)	72程度	43.4
為替レート (円/\$)	110程度	(110程度)	110程度	106.1

# 参考情報

# (参考) 原油価格・為替レートへの対純利益感応度

## 【国内火力・ガス事業】

(億円)

		収益影響額	
		下期	
変動時期	原油価格 (1\$/b上昇)	3Q(10月~)	▲30
		4Q(1月~)	-

(億円)

		収益影響額	
		下期	
変動時期	為替レート (1円/\$円安方向)	3Q(10月~)	▲30
		4Q(1月~)	▲30

## 【燃料事業・海外発電事業】

(億円)

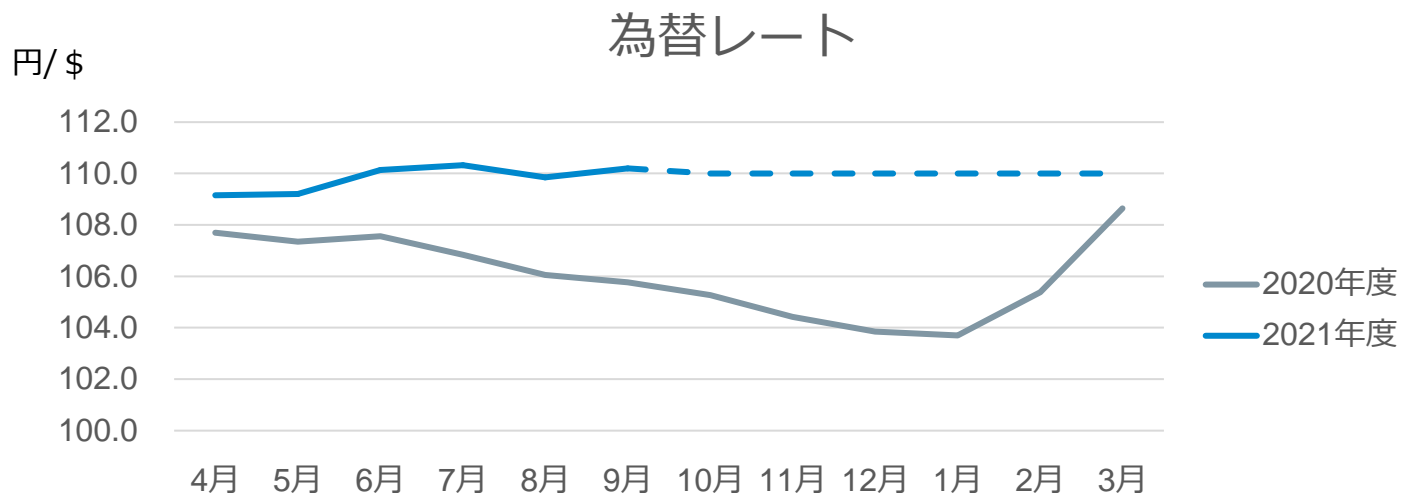
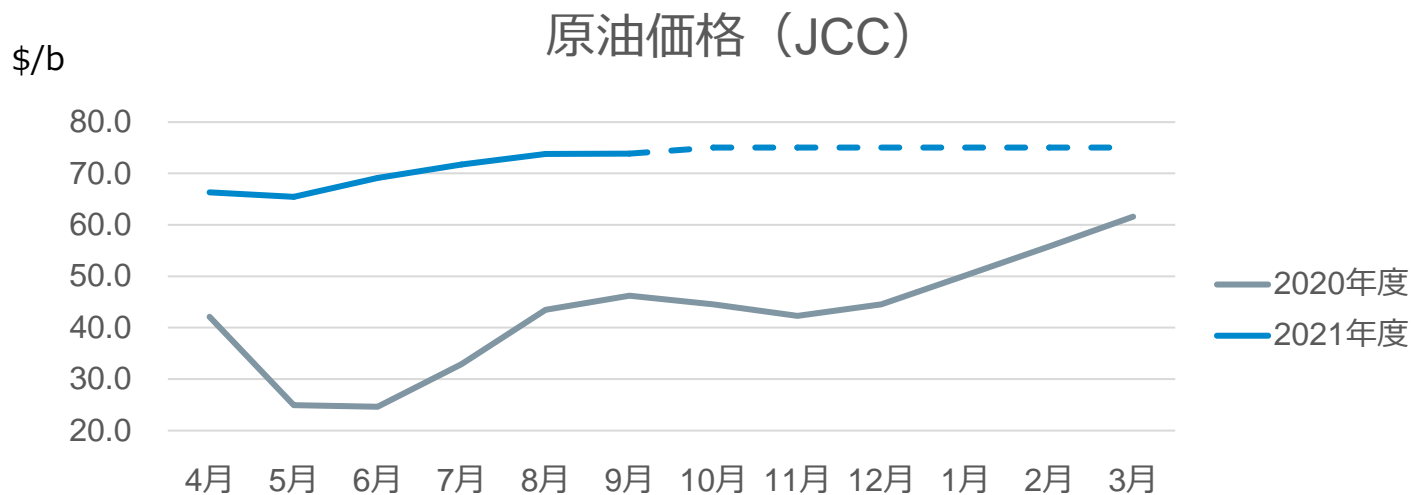
		収益影響額	
		下期	
変動時期	原油価格 (1\$/b上昇)	下期	+2

(億円)

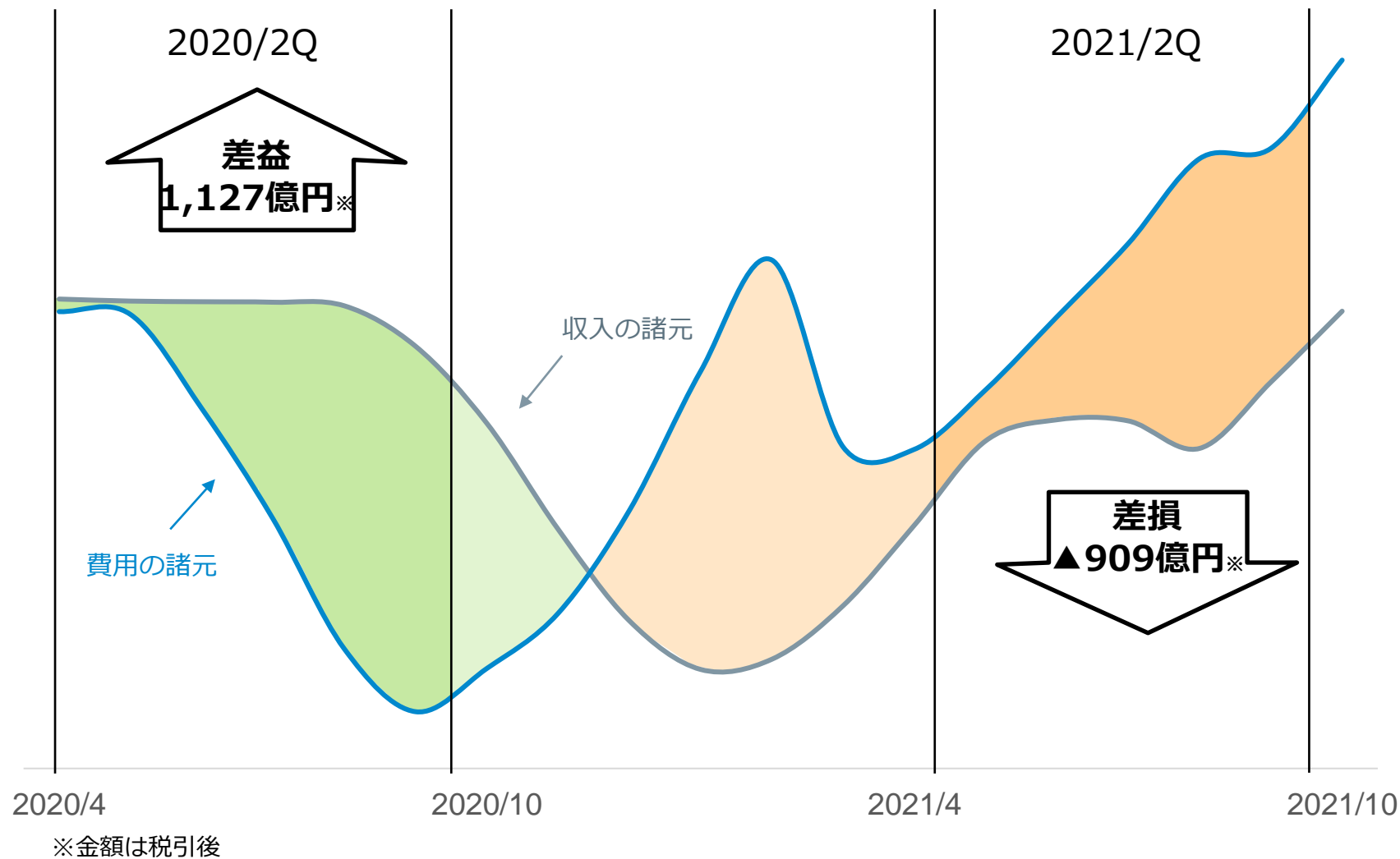
		収益影響額	
		下期	
変動時期	為替レート (1円/\$円安方向)	下期	+3



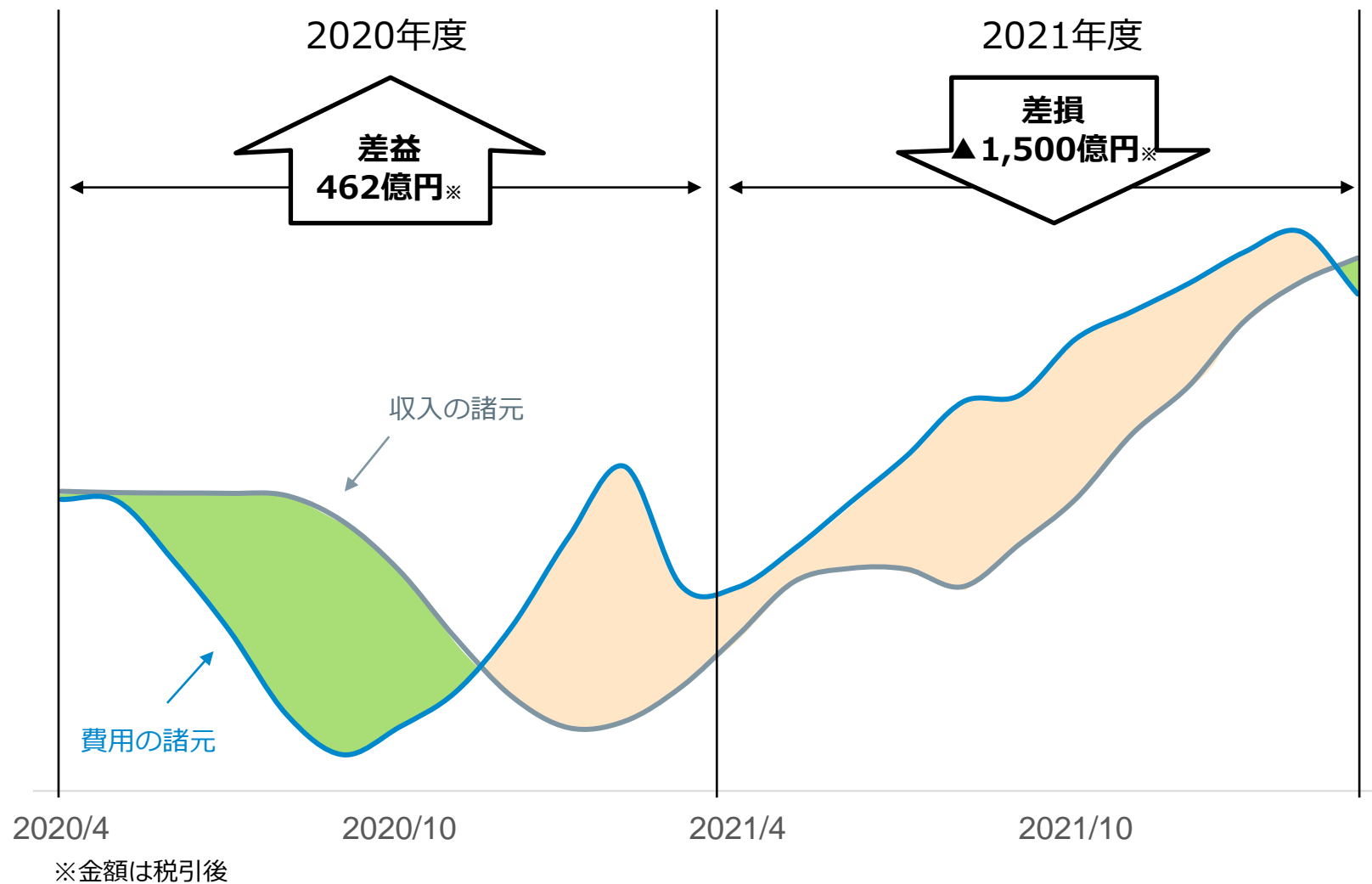
# (参考) 原油価格・為替レート推移



# 期ずれ影響のイメージ (2020/2Q – 2021/2Q)



# 期ずれ影響のイメージ（通期見通し）



# 販売電力量・発電電力量の推移

## 【販売電力量（億kWh）】

	4～6月	7～9月	2Q(4～9月)
2021年度	537	646	1,183
2020年度	475	624	1,099

## 【発電電力量（億kWh）】

	4～6月	7～9月	2Q(4～9月)
2021年度	534	617	1,151
LNG	412 (77%)	468 (76%)	880 (76%)
石炭	122 (23%)	149 (24%)	271 (24%)
重油・原油	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)
2020年度	470	617	1,087
LNG	384 (82%)	529 (86%)	913 (84%)
石炭	87 (18%)	88 (14%)	174 (16%)
重油・原油	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)

※四捨五入の関係で合計は一致しない

## 【発行体格付けの推移】

